極東国立農業大学（ロシア連邦アムール州ブラゴベシチェンスク）から共同研究者３名を招聘し，去る 2011 年 3 月 2 日に富山大学理学部 A238 室にて，極東地域研究セミナーを開催しました。参加者は２０名でした。

セミナーの開催にあたり，極東地域研究センター長・今村弘子教授より挨拶があり，次いで同センターの和田直也より本セミナーの開催経緯と共同研究の提案に関する発表がありました。そして，副センター長の堀江典生教授より，極東地域研究センターの紹介がありました。極東国立農業大学の Nemilostiv, Yury, Pavlovich 助教授からは，極東国立農業大学の紹介と各学部で行われている研究等についての報告がありました。次に，同大学の Bryanin, Semen, Vladimirovich 助教授からは，アムール州の自然環境と当該地域で懸念されている環境問題について紹介があり，さらにゼイスキー自然保護地域の自然環境とその変化に関する報告がありました。最後に，同大学の Reymer Valeriy 助教授から，アムール州における中露貿易に関する報告がありました。発表言語は，英語とロシア語で行われ，ロシア語については副センター長・堀江教授の翻訳・解説のもと，セミナーが行われました。参加した理学部の学生には言葉の壁で理解しにくい内容だったかもしれませんが，２名の学生から質問も飛び出し，和やかな雰囲気のもと相互理解が深まりました。今後，極東地域研究センターでは，極東国立農業大学との学術交流や共同研究プロジェクトを発展させていく予定です。ご意見等ありましたら遠慮なく当センター教員までお寄せ下さい。

（文責・和田直也）